

所得稅法の一部を改正する等の法律案特別委員會議事速記録第五號

付託議案
○所得稅法の一部を改正する等の法律案

○臨時租稅措置法を改正する法律案
○地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案

昭和二十一年八月二十三日(金曜日)
午後一時四十八分開會

○委員長(男爵周布政使) 開會致シ

マ、昨日一委員カラ大藏、農林、商工三大臣御列席ノ上デ質問ヲシタイト云フ御要求ガゴザイマシタ、ソレニ付キマシテ大臣ノ方ニ連絡ヲ執リマシタ處ガ、只今二大臣デ御出席ガゴザイマシタガ、マダ商工大臣ガ御見エニナラナイノデアリマス、併シ時間モ貴重デゴザイマシタカラ、先ヅ以テ三大臣ニ對シ御要求ノ方ハ御後ニ願ヒマシテ、他ニ御質問ガゴザイマシタレバ其ノ方ヲ先ハ願ヒタイト思ヒマス

○男爵松平外郎(貴族院議員) 消費稅ノ全般ニ付テ一ツ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、昨日モ特ニ此ノ砂糖消費稅ニ付テハ稅率ノ上リ方ガ強イト云フ御注意ガ出タノデアリマスガ、ドウモ考ヘテ見マスト云フト、稅率一覽表ヲ見マシテモ、從來ニ比ベマシテ約三十倍以上ノ高率ニナツテ居リマス、ソレカラ假ニ織物消費稅ヲ見マシテモ、從來ノ百分ノ十五ガ百分ノ四十ニナツテ居ル、物ニ依ツテハ下ツテ居リマスガ、特ニ綿織物ハ非課稅デアッタノガ百分ノ十課稅スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、國民生活ト云フ點カラ考ヘマスト、砂糖ト云フモノハ絕對ニ必

需品ト云フコトハ嘗ヘマセヌカモ知レマセヌケレドモ、日本ノ家庭ト云フモノヲ考ヘテ見タ場合ニ於テハドウシテモ砂糖ト云フモノハ必需品ノ中ニ入ルモノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點カラ考ヘマシテ斯クノ如ク高率ニナリマスレバ必要ノ者ハ買ヒマセヌケレドモ、今日ノ物價高ト云フ現狀カラ考ヘテ見マスレバ可ナリノ出費額ニナルト思ヒマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ大藏當局ニシテハ已ムヲ得ナイ、從來此ノ稅率ハ上ツテ居ラズト云フ御話モ承ツテ居ルノデアリマスガ、餘リニ此ノ率ガ上リ過ギテ居ハシナイカ、國民生活上ノ點カラ見テ少シ高率過ギハシナイカト云フ感ジガ致スノデアリマス、ソレカラ又織物ノ點ヲ見マシテモ織物ハ日本ノ獨特ノモノデアリマシテ、矢張り日本ノ家庭生活ノ上カラ考ヘテ見マスレバ矢張り是ハ相當必要ナモノデアル、今日ダガラ成ルタケ物ヲ節約シテ買ハナイデ行クト言ヘバソレ切リノ問題デアリマスガ、獨逸ノ家庭ト云フ問題ヲ考ヘマスト、日本ノ衣類ト云フモノハ或程度ニ必需品ト見ナケレバナラヌ、サウ云フ點カラ考ヘテ見マシテモ是亦砂糖ニ比ベマスレバサウ高率デアリマス、殊ニ綿織物ハ非課稅デアッタモノヲ課稅ラシテ價格ノ百分ノ十二スル、之ニ付テ何カ特殊ノ御事情ガアルト思ヒマスガ、此ノ點ヲ併セテ御説明願ヒタイト思ヒマス、斯ウ云フ國民生活ノ點カラ見マシテ砂糖以外ニ日本ノ家庭トシテ必要ナノハ味噌、醬油デア

リマスガ、此ノ味噌、醬油ハ是ニ掲ツテ居リマセヌカラ稅ガ課カラヌモノト思ヒマス、サウ云フ點カラ考ヘテ見マス、同ジ家庭ノ必需品デアル味噌、醬油ト云フモノハ絕對ニ必需品、斯ウ云フ御判斷ダラウト思ヒマスガ、砂糖モ矢張り是ニ類似スベキモノデ、絕對性ハナイニシマシテモ矢張り是ハ相當必要ナルモノデアリマスガ、サウ云フ點ヲ斟酌サレテ、此ノ稅率ヲ引上ゲニナル場合ニ於テ餘リ上リ過ギタト云フ點ヲツク、感ジルノデアリマス、又織物ニ付キマシテハ御管轄ハ農林省ノ關係モアリ、又商工省ノ關係モアリ、又農林、商工ノ立場カラ見マシテ斯ウ云フ課稅ヲ相當上ゲテモ將來織維製品ト云フモノニ對シテハ支障ハナイカドウカト云フコトノ御意見ヲ主管ノ商工大臣カラ御話ヲ併セテ伺ヘタラ幸ダト思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 消費稅ノ問題デアリマスガ、唯砂糖ハ稅ガ非常ニ一遍ニ上ルヤウニ考ヘマシテ、色々檢討ヲ致シタノデアリマスガ、實ハ最近ノ砂糖ノ狀況ハ御承知ノヤウニ平時ト違フ狀況ヲ呈シテ居リマシテ、隨分實際ノ價格ハ上ツテ居ル、ソレデ稅ヲ斯様ニ致シマシテモ現在ノ物價ノ狀況カラ見レバ實際ハソナニ高イモノデアナイ、寧ロ斯ウ云フ風ニスル方ガ現在ノ砂糖ノ狀況ニ合フデアラウ、斯ウ云フコトカラ稅ヲ上ゲマシタ、ソレカラ織物ノ方ハ是ハ物品稅ヲ廢シマシタ關係カラデアリマシテ、物品稅ヲ加ヘルト、物ニ依ツテハ下ツテ居ルノデアリ

マス、物品稅ノ方ヲ廢メマシテ、サウシテ織物消費稅一本ニ致シタ譯デゴザイマス、唯綿織物デケハ確カニ、今度百分ノ十新シ課稅デ譯デアリマスガ、是ハ今ノ砂糖ト同ジヤウニ綿織物ノ狀況ハ、現在ハ非常ニ以前ト變ツテ居リマシテ、他ノ織物ト比較シテ家庭ノ衣料トシテ綿織物ト云フモノガ非常ニ數量モ少イシ、ソレカラ市中等ノ價格ト云フモノハ無暗ニ騰ツテ居リマシヤウナ譯デアリマスガ、現在ニ於テハ百分ノ十位綿織物ニ課稅シテモ實際ニ於テ家庭ニ差支ヲ起スコトハナイダラウ、他ノ織物トノ關係カラ見テモ、此ノ際綿織物ニモ若干ノ課稅ヲシタ方が適當ダラウト斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ此ノ稅率ヲ作ツタ次第デアリマス

○男爵松平外郎(貴族院議員) 私ドウモハツキリ致シマセヌノデアリマスガ、今ノ御話ニ依リマスと砂糖ノ値ガ今日ハ相當高イ、ソレカラ比ベレバ是位ニシテモ差支ナイデヤナイカ、織物モ同様ノ御説明デアリマス、物價高ト云フモノヲ基準ニシテ稅率ヲ上ゲルト云フコトニナルト是ハ頗ル力カシナモノデアナイカト思ヒマス、假ニ物價高ニナリマシテモ將來ノ需要上ソレヲ考ヘテ見タ場合ニ於テハ必ズシモ單位ヲサウ上ゲマセヌテモ「バランス」ガ取レ得ルモノデアナイカト思ヒマス、織物ニ於テモ同様ニ感ズルノデアリマスガ、殊ニ今ノ御話ニ依リマスと、相當物價高ダカラ是位デ構ハナイダラウト仰シヤイマスケレドモ、一般家庭ノ購買力ト云フモノハ、家ニ依リマシテハ違ヒマスケレド

モ、今度ノ所得稅ノ増額、財産稅ノ徵收ト云フコトヲ考ヘマスト、恐ラク國家全般ニ見マシテ、國民ノ購買力ト云フモノハ御話ニ依リマスと餘リ變リナイヤウナ御話デアリマスケレドモ、餘程ノ影響ヲ持ツノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ點カラ考ヘテ見マスと、餘リ極端ニ之ヲ上ゲ過ギルト云フコトガ將來ノ國民生活上ニドウ云フ影響ガ現レテ來ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスと、餘程心配ノ點ノ一ツデヤナイカト思フノデアリマス、大藏當局トシテ假ニ斯ウ云フコトヲシテモ全般ニ見デ國民ノ購買力ト云フモノハ變ラナイ、是位ノモノハ常ニ買ヘルダラウト云フ御自信ガオアリナノデセウカドウデセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 實ハ砂糖、織物ガモットフンダンシニアリマシテ、家庭ガドン／＼買フヤウナ狀況デアレバ、課稅モモット考ヘナケレバナラヌ目三十圓程度ニナルノデアリマス、平時ト云フカ、以前ノ砂糖ノ狀況カラ見レバ是ハ非常ニ高イ稅率デアリマシテ、斯ウ云フコトハ出來ナイ譯デアリマシテ、若シ砂糖或ハ織物ガ平時ノ狀態ニ戻ル場合ニハ、斯様ノ稅ハ無論改メナケレバナラヌト考ヘテ、居ル次第デアリマス

○伯爵奧平昌恭(貴族院議員) 物價ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ稅率ノ方ヲ對照シマスと、三千倍以上ニナリマス、昨日モ私此ノ點ニ付テ色々御説明ヲ聞キマシタガ、ドレヲ見マシテモ、八圓七十錢ノモノ

ガ二百八十圓ニナルトカ、或ハ十二圓

カ、ドウカ何ヒタイ

向素人ノコトデ分リマセヌケレドモ、

千七百「トン」ノ生産ガアリマシテ、

サレテ居ル、後ハ工業用デアルトカ藥

ノモノガ三百五十圓ニナルトカ、二十

〇國務大臣(石橋通山君) 今モ中シマ

債カ所ノ段別ニ付キマシテモ、是ハ

品用ノ形ノモノデアリマスガ、併シ是

ハ總量ガ非常ニ少イモノデアリマスガ

二十三圓ノモノガ四百八十圓ニナルト

ハ無論コソナ税ハ取ルコトモ出来マセ

テモ、是ハ出来ノ問題デアリマス、ソ

道ハ八千六百「トン」シカアリマセヌ、

鹿兒島ノ黒糖ハ八百「トン」、此ウ云フ

カ、如何ニモ数字的ニ考ヘマスト三十

又酒ナゾデモ矢張り同ジデアリマ

ノ畑モモット擴張出来マセヌデセウ

カ、其ノ點ヲ一ツト、殊ニ最モ一番ム

スレバ、今ムヤウナ税率デハ誠ニ困ル

等ノ點ニ付テ物價ノ點カラ研究ハ始終

アリマス、近イ中ニ又皆サナラ煩シテ、

頃デアリマシタカ、殊ニ大正七、八年ノ

併シ實際上栽培サレマシタノハ一萬五

百町歩バカリデアリマス、北海道應デ

ヤツテ居ラレルデセウカラ、若シサウ

此ノ平時ノ場合ノコトヲ想像シテノ檢

ハ「ビート」デ以テヤツテルコトヲ承

ハ北海道ノ甜菜審議會ト云フモノヲ實

デ、已ムヲ得ズ、物ガ非常ニ少イノデ、

就キマシテハ砂糖ノ生産ノ問題ニ付キ

討ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレ

風ナ地帯ニ持ツテ行ツテモ「ビート」ガ

デハ例ノ七十五萬町歩ノ開拓計畫ガア

栽培デアリマスガ、是ハ從來ハ北海道

マシテハ農林大臣ニ後デ御質問申上デ

ハ無稅ナデアリマス、デスカラ事實

出ルノデスカラ、北海道ノ如キニ相

萬町歩位ノ限度トシテ甜菜ノ作付ノ確

保ヲ圖ラウ、斯ウ致シテ居ルノデアリ

キマシテ、モウ少シ何トカ出来マセヌ

ニ於テハ八圓七十錢ガ二百八十圓ニ上

言フニハ、是ハ如何ガ來テ「ビート」ニ

居リマス、勿論ハ五箇年計畫ニナツテ

マシテモ、開拓上ノ一ツノ作物トシテ考

マスケレドモ、來年度ニナツテ砂糖ノ

在トシテハ變態的デスカラ、サウ大シタ

カヌガ爲ニ、北海道ニ於テ此ノ會社ガ

歩位ノ面積ニシテ行カウ、斯ウ計畫致

シテ居ル次第デアリマス、是ハ何ト申

生童ガ増加サレタ時ニハ、之ニ付テ、

イカラ砂糖ガモット入レバ宜イノデア

云フコトヲ承ツテ歸リマシタ、其ノヤ

シマシテモ、日本デハ到底國內ノ需要

ハ出來ナイノデアリマシテ、家庭用デハ

ニ必要ナモノデアリマス、我々ハ砂糖

リマスガ、實際ハ入ラナイト云フ狀況

云フコトヲ承ツテ歸リマシタ、其ノヤ

シマシテモ、日本デハ到底國內ノ需要

ハ出來ナイノデアリマシテ、家庭用デハ

ハ紙メナクテモ生キチヤ居ラレマセウ

ケレドモ、病人ト今ノ兒童ト云フモノ

ニ付テハ篤ト御考慮ヒタイ、此ノ二

ハ出來ナイノデアリマシテ、家庭用デハ

ニ於キマシテハ、出來ルダケ國內ニ於

ニ付テハ篤ト御考慮ヒタイ、此ノ二

ガ、農林大臣ニ一ツ私カラ申上デマス

ガ、此ノ砂糖ノ生産ニ付キマシテ昨日

モチヨット承リマシタノデスカレドモ、

テ居ナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス、

若シ其ノ點カラ考ヘマシテ、サウ云フ

方面ノ必要ナモノニ付テハ特ニソレハ

ソコデ只今問題ニナリマシタ稅ノ方モ

實際上非常ニ税率ガ高クナツテ居ルノ

デアリマスガ、實ハ家庭ニ配給サレル

考慮シナケレバナラス、特ニ砂糖デモ

御菓子デモ宜シウゴザイマスカラ、ソ

レニ付テハ莫ット輕減サスルトカ、病

モノハ殆ドナイト言ツテモ宜イ狀況デ

アリマスノデ、現在トシテハ家庭ノ生

人ニ付テモ、何ト言ヒマスガ、砂糖ノ

カラ考ヘマスト云フト、恐ラク其ノ砂

糖畑ト云フモノハ餘程減シテシマツテ

居ルノデハナイカト云フコトニ付テ、

私ハ之ヲ危惧シテ考ヘテ居リマス、其

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和田博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

ノ點ニ付テ肥料ヲ加ヘテモ、私共ハ一

〇國務大臣(和島博雄君) 此ノ國內産

ノ砂糖デアリマスガ、是ハ主ナモノハ

北海道ノ甜菜ト鹿兒島ノ黒糖ニナツテ

居リマス、十六年ニハ北海道ハ二萬五

手ニ入ツタ砂糖ノ輸入ト云フモノハ僅
ガナモノデアリマシテ、是ハ私開キマ
シタコトゴザイマスクレドモ、恐ラ
ク奄美大島カラ入レタ三百「トン」ヨリ
外ニ輸入シタ砂糖ガナイデアラウト云
フコトヲ聞イテ居リマス、本當ノコト
ダト云フコトヲ聽イテ居リマスガ、事
實其ノ通りデアリスルナラバ、ソレ
ニ付キマシテ今後共相當ニ司令部ノ方
ノ諒解ヲ得ル人ガアツテ、ソレヲ國內
ニ入レルコトニ對シテ相當ニ獎勵ヲシ
テヤルコトニ付テハ、持ニ御考ヘニナ
ル必要ガアルノデハナイカト私ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、今商工大臣ガ來
マシタカラ再ビ申上ゲマスクレドモ、
ソレニ付キマシテ砂糖ノ點ニ付テハ特
別ニ世話人ノヤウナモノヲ國內ニ持
テ……例ヘバ三井物産トカ、三菱商事
トカ、日本砂糖貿易トカ、有馬洋行ト
カ、復利洋行トカ云フ、特殊ノモノニ
ノミ權利ヲ與ヘタヤウナ形ニ今日ハナ
ツテ居ルヤウデアリマス、所謂何
ト申シマスルカ、斯ウ云フ資產階級ノ
者ニノミ權利ヲ與ヘルノデナク、ドン
ナ國民ニデモ、或ハ二世ノ人ニデモ、
所謂民主主義ノ爲ニ、國ノ爲ニ勸イテ
與レル人デアラナラバ、是ハ先程モ申
シマシタ通り、相當ノ保護ヲ加ヘテヤ
リ、サウシテ然レバキ方法ヲ執ツテヤ
ツテ行カレバ、非常ニ國家ノ爲ニナ
ルダラウ、唯從來ノ關係カラ言ツテ、
七八ノ者ニノミ、會社、法人、其
ノ他個人ニヤラセルト云フコトノミニ
依ツテハ私ハ砂糖ノ政策ハ完全ニ遂行
ハ出來ナイ今日デヤナカ、此ノ點ヲ
御考ヘ置キテ願フコトガ出來マセデ
モ、尙且商工大臣モ御考ヘ置キテ願
ヒタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、

別ニ特ニ説明ヲ求メヨウト私ハ考ヘテ
居リマセマスクレドモ、自分ノ希望ヲ申
シテ置キタイト思ヒマス
○國務大臣(和田博雄君) 此ノ砂糖ハ
ドウシマシテ、國內ノ生産ダケデ
ハ、是ハ足りマセヌノデ、聯合軍ノ方
ニモ食糧ノ輸入ヲ懇請ヲ致シマスル時
ニ、矢張り我々トシテハ砂糖ノ輸入ノ
懇請ヲ致シテ居タノデアリマス、約
三十五萬「トン」二十一年度ハ致シタ
譯デアリマス、併シ色々ナ都合デ、仰
シヤイマスヤウニ、入ツタノハ殆ドナ
イト云フ狀態デアリマス、ソレデ貿易
ノ點ハ是ハ商工省ノ方ノ所管ニナルト
思ヒマスガ、今デハ國ガ一緒ニシテ、
總メテヤツテ居ルヤウナ實際ノ實情デ
ゴザイマス、將來國トシテサウ云ツタ
ヤウナ點ハ特ニ大キナ業者ダケニ特權
ヲ與ヘルト云フヤウナコトノナイヤウ
ニヤツテ行カレバナラヌ、斯ウ思
ツテ居リマス、具體的ニハドウ云フヤ
ウナ問題デスカ私能ク存ジマセヌノ
デ、御答辯ハ出來兼キマスガ、大體其
ノ程度デアリマス
○伯爵眞平昌泰君 ドウゾ一ツ御考ヘ
置キテ願ヒマス
○委員長(男爵周布兼道君) 松尾委員
ニ申上ゲマス、只今商工大臣ガオイデ
ニナリマシタノデ、三大臣揃ヒマシタ
カラ、御通告ノ御質問ヲ御願ヒ致シ
マス
○松尾國松君 私ガ先ツ三大臣ニ伺ヒ
タイト云フコトヲ申出シタ其ノ理由
ヲ簡單ニ申上ゲマス、此ノ増稅案ニ付
キマシテ、商工大臣、農林大臣ニ御尋
ネ申シタイト云フ意味ハ、平時ニ於キ
マシテハ納稅ハ大藏大臣ダケノ所管ニ
屬スルコトハ申上ゲル迄モナイノデア
リマスガ、今日ハ統制ト云フ桿ガア

リ、又總テヲ爲シマスルニハ許可、認
可若シクハ了解得ナレバナラヌ實
情ニアリ、又片一方デ生産ヲ致サウト
思ヒマシタモ、片一方デ其ノ資材及ビ
必要ナルソレノモノハ矢張り各關
係ノ方々ノ承認若シクハ許可ヲ得ナク
レバナラヌ、斯ウ云フコトハ私ガ申ス
迄モナク皆御承認ノ通りデアリマ
ス、殊ニ政治家トシテ堪能ナル方々ハ
野ニオイデニナツタ時、若シクハ今日
デモ我々ノ申スヤウナコトハ、頗々ト
御耳ニ入ツテ居ルコトト存ジマスガ故
ニ、今日ニ於ケル増稅ヲ審議スルニ當
リマシテハ擔稅能力ガ如何ニアルカ、
斯ウ云フコトト、又無ケレバ其ノ擔稅
能力ヲ如何ニ培養スルカ、サウシテ國
民ヲシテ此ノ増稅案ニ協贊シタル處
ノ意味ヲ最モ能ク知ラシメテ、此ノ増稅
案ニ對スル結果ノ良好ヲ期スルト云フ
フコトハ、増稅案ニ對スル我々ノ責任
デモアリ、義務デアルト存ズル次第デ
アリマス、故ニ最モ御關係ノ厚イト思
フ三大臣ニ御質問ヲ希望シタ譯デアリ
マス、平時ニ於キマシテハ自己ノ力ニ
於テ、自己ノ努力モ出來マス、今日ハ政
府ノ了解トカ、認可トカ、承認ナクシ
テハ殆ド動クコトガ出來ナイコトハ御
承知ノ通りデアリマス、故ニ是等ニ關
シテ民意ヲ最モ能ク知り、最モ能ク了
解シ、最モ能ク好意ト同情ヲ以テ之ヲ
處理シテ行クト云フコトデナレバ、
私ハ平和日本ノ財源ハ恐ラク出來ナカ
ラウト存ズルモノデアリマス、デサウ
云フ意味ニ於テ御伺ヲ致シマスルノデ
アリマス、第一ニ先ツ大藏大臣ニ御伺
ヒシタイコトハ、昨二十二日、議會ニ
於テ財政ニ關スル御説明ノ中ニ、八箇
年ニ亙ル戰爭中資材其ノ他實際的ノ減

損ガ頗ル大ナルモノガアル、斯ウ云フ
コトヲ御述べニナツタヤウニ存ジマ
ス、言葉ハ違フカモ存ジマセマスガ、意
味ハサウ云フ風ニ承ツタノデアリマス、
私ハ如何ニモソレハ御尤モデアルト存
ジマスルガ、ソレハ我々ガ戰災ニ依リ
マスル災害ダケヲ假ニ取上ゲテ見マシ
テモ、焦土化シタモノハ御承知ノ通
リ、一億六千萬坪、此ノ土地ヲ利用致
シマスル地上及ビ地下ノ資產、施設ノ
損失ヲ見積リマス、少クトモ私ノ計
算デハ一千億ヲ下ラヌト存ジマス、更ニ
敗戰ニ依リ其ノ他ノ私有ノ財產及ビ設
備ノ減少額ヲ見積リマシタナラバ、測
リ知レザル巨額ノ上ルノデナカラウカ
ト存ジマス、其ノ次ニハ賠償ハドウ云
フコトニナリマスカ私ハ存ジマセヌ
ガ、但シ我々ガ常識ヲ以テ想像致シマ
シテモ、賠償ノ結果ニ依リ生産減ト云
フモノハ著シイモノガアラウト存ジマ
ス、サウ云フ風ニ考ヘテ見マスと擔稅
能力ト云フモノハ頗ル貧弱ニナリハシ
ナイカ、一昨日大藏大臣ニ御伺ヒスル
時ニモ申上ゲマシタガ、二十年度ノ租
稅賦課ノ對象ニナルモノハ農業所得ニ
於テ九十三億、十九年度ニ比シテ七十
四億圓ノ増加デ、約五倍ニナツテ居リ
マス、更ニ勤勞所得ハ二百四十億圓デ
アリマス、ソレデ農業所得ハ勤勞所得
ニ次グ額ニ上ツテ居リマス、更ニ農業
ノ方面カラ考ヘマスレバ勤勞ニ依ル所
得ハ農業モ加ハリマスルカラシテ、農
業ノ負擔モ相當ニエライト存ジマスル
ガ、兎ニ角前年ニ比シマスルト、私ノ
計算デハ、マダ追加豫算モ出ルデアリ
マスカモ知レヌシ、シツカリハ分リマ
セヌガ、少クトモ二十年度ニ比シテ、
戰時中ノ豫算ニ比シテ、負擔ノ増額ハ
三百億圓以上ニ上ルノデヤナカト存

ジマス、數字ガ多少違フカモ知レヌガ、
私ノ推計デハサウ云フ風ニ思ヒマス、
又個人ノ支出、斯ウ云フ方カラ考ヘマ
スト、申上ゲル迄モナク復興費、生活
費等、著シク負擔ハ増加ニナツテ居ル
コトハ私ガ申ス迄モナイコトデアリマ
ス、故ニ私ハ此ノ増稅案ヲ審議シ、協
贊スル上ニ於テ申上ゲルコトヲ憚ル程
ノ不安ヲ感ズル者デアリマス、此ノ不
安ヲ解イテ國民ハ安心シテ租稅ヲ負擔
シ此ノ租稅負擔ニ依ツテ私ハ平和日本
ノ再建ガ出來ルノデアルト云フ希望ノ
下ニ此ノ擔稅ヲシナケレバナラヌ、斯
ウ存ジマスノデアリマス、此ノ苦シ
ミノ擔稅力ハ總テガ平和日本再建ノ爲デ
アル、而シテ我々ハ努力ニ依ツテ此ノ
擔稅力ノ義務ヲ果スコトガ出來ルノデ
アル、此ノ重キ苦シミ擔稅ハ總テハ明
ルイ日本ノ基礎デアルト云フ、一面ニ
於テ苦痛ヲ喜ビニ變ヘル意味ニ於ケル
擔稅デナケレバナラヌト存ジマスノデ
アリマス、然レニ増稅案ノソレ程ニ私
ハ敗戰日本ノ實情ニ於テハ、擔稅能力
ニ於テ困難ガアルト存ジマス、然レニ
増稅案ノ理由ヲ見マスルト、國庫ノ收
入ノ増加ヲ圖リ、財政ノ強化ニ資スル
ト同時ニ、經濟ノ諸情勢等ノ推移ニ應
ジトアリマス、私ハ之ヲ考ヘマス、
昨日議會ニ於ケル大藏大臣ノ御説明ノ
中ノ損失ノ大キクツタコトヲ肯定サル
ルコトハ肯定サル、ガ、更ニ經濟情勢
ノ推移ニ依ツテ是程ノ増稅モ容易ニ……
マア容易ニト云フ言葉ガ當ラカレバ
負擔ニ堪ヘルモノデアルト御認メニナ
リマシタ點ニ於テハ、多少ノ私共ハ分
ラヌ點ガアルノデアリマス、斯ウ云フ
意味ニ於テ、此ノ點ヲ大藏大臣ニ私共
ノ分ルヤウニ、伺ヒタイ、其ノ次ニハ
「インフレ」必至ノ狀況ハ、ハ國民ノ

考ヘテ居ルノデアリマス、然ル處、和田農林大臣ハサウカドワカ在ジマセヌガ、私ノ仄カニ承ツタ所ニ依ルト、二合七勺ハ先ツ宜カラウト言ハレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、併シソレハ私ハ實ハ数字的ニ尤モダト考ヘルモノデアリマス、ドウ云フ譯デ尤モゼヤト申スト、昭和十五年ニハ御承知ノ通り八千四百萬石デアリマス、昭和十四年ガ八千四百萬石、昭和十三年ガ八千九百萬石ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ昭和十八年ガ八千二百萬石、昭和十九年ガ八千百萬石、昭和二十年ガ七千七百萬石、昭和二十一年ハ、是ヘ勿論米ノミノ計算デアリマスガ、五千三百萬石、之ニ對シテ二千萬石混ゼマスレバ七千三百萬石ニナリマス、更ニ若干ノ輸入ガアリマスレバ八千萬石ニナル、ソレデアリマスカラ私共ハ寧ロ、軍需ノ必要ガナクナツタ今日、復員軍人ト、又海外カヲ引揚ゲル者ヲ混ゼマシテモ、容易ニ八千萬人ニハナラナイモノト思ツテ居リマス、七千五、六百萬人デ今ノ處止マルノザヤナイカト考ヘテ居リマス、サウ云フコトカラ推算致シマスレバ、成程農林大臣ガ仰シヤツタカ、仰シヤラスカ知ラスガ、私ノ仄カニ聞イタ數字ハ合フ、ダカラ今三合出來ルカ出來ナイカ考ヘ中デアルト云フ、斯ウ云フコトノヤウニ承ツテ居リマス、サウ云フ意味ニ於テ御差支ノナイ限り御老ヲ承リタイ、併シ私ハサウ云フコトヲ承ツタトテ、農林大臣ノ責任デアルトカ何トカ、ソノシナ下ラナイコトヲ言フモノデハナイノデアリマス、是ハドウ云フコトデ申スカト云フト、三合ニ近い醜給ガ出來ルト云フコトヲ國民ニ知ラシムルナラバ、ソレニ依ツテ何トモ言ヘヌ氣持ヲ

回復スルモノデナカタクカト思ヒマ
ス、故ニ九月ヲ突破スレバ、十月カラ
出来ルトカ云フヤウナ意味ノコトヲ一
日モ早ク聞カシタイ、勿論新聞ニ依リ
マスレバ考慮中デアルト云フコトデア
リマスガ、サウ云フ意味デ御尋申ス
ノデアリマス、其ノ次ニハ肥料ノ増産
デアリマス、肥料ノ増産ニ付キマシテ
ハ、遺憾ナガラ私共ハ國民ニ何トモ申
解ナイ攻撃ヲ受ケテ居ルノデアリマ
ス、是ハ私が申ス迄モアリマセヌ、之
ヲ出シテ呉レバ肥料ハ是ダケヤルト
言ツテ置キナガラ、チヨットモアレナ
イ、是ハ改メテ申ス迄モナク公知ノ事
實デアリ、御承知ノ通りデアリマス、
最近ニ於テ幾ラカ御盡力ニ依ツテ直ッ
テ来テ居リマススケレドモ、今日迄ノ約
束不履行ヲ遺憾トスルモノデアリマ
ス、處ガ茲ニ一番私ノ御聴キヲ願ヒタ
イコトハ、一ツ肥料ヲ造ラウ、期ウ云
フコトヲ考ヘマス時、工場關係デハ商
工大臣ノ管理下ニ工務局長ガアリ、商
務局長ガアル、サウシテ更ニ厚生省ニ
モ關係スル、農林省ノ農政局ノ肥料ニ
關スル者ガ關係スル、マゴノシテ廻
ッテ居ル内ニ、大藏省ノ金融ニ引ッ掛
ツテシマツタ、實ニ何ト云ツテ宜イカ
分ラナイ、ソレデアルカラ二日カ三日
デ済ムコトヲ、一月モ、二月モ、三月
モ、四月モ、半年モ掛ツテ終ヒニハシ
マツタコトヲシタ、私ハ斯ウ云フコト
ヲ能ク聞キマスガ、實ニ私ハ斯ウ云フ
點ニ於テハ大藏大臣ノ言ハレル生産増
加ニ付テハ一大支障ヲ来スモノデナカラ
ウカト存ズルノデアリマスルガ、ソレ
デ勿論ハハドコニ行キマシテモ堂々タ
ル御役人ガ構ヘテゴザツテ、多クノ場
合ニ於テ自己主観ノ意見ヲ述ベテ何ト
モ仕様ガナイ、斯ウ云フ點ニ於テ、私

ハ農林大臣ハ之ヲ自己ノ下ニ一元化シ
テ、食糧増産ニ最モ緊切ナル此ノ肥料
ヲ、斯ウ云フ現實ニ於ケル弊害ヲ除イ
テ、自己ノ下ニ一元化シテ我々國民ノ
希望スルガ如キ機構ニ改ムノ意思アリ
ヤ否ヤ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマ
ス、若シ改ムコト能ハズンバ、各關
係ノ大臣ノ方々ハ最モ緊密ニ異體同
心、一元化シテ戴ク、之ヲ私が御願ヒ
シ得ルヤ否ヤ、斯ウ云フ意味デ御尋ネ
申シタイノデアリマス、更ニ商工大臣
ニ御伺ヒシタイコトハ、石炭ノ増産ハ
生産事業ニ於ケル食糧ニ次グ大切ナル
コト、私が申上ゲル迄モナクコトデア
リマス、之ニ付テ非常ナル御苦心ノ中
ニアルコトモ存ジテ居リマス、又之ガ
價格調整ノ資金トシテ、私ハマダ豫算
ヲ一々檢討シテ居リマセヌガ、五十餘
億ノ國庫負擔ガアルトカ聞イテ居リマ
ス、之ヲ需要者ニ負擔セシムルト云フ
コトモ出来マセヌ理由、サウシテ石炭
ヲ如何ニシテ今後増産シ得ルカト云フ
御見込ヲ承リタイノデアリマス、ソレ
ハ尙一言附加ヘマスルガ、何か一ツ事
業ヲヤラウト思ツテモ、石炭ガナイ、石
炭ガ配給ガナケレバ出来ナイデヤナイ
カ、何トモ仕様ガナイ、石炭ガドコニ
アルカト言ヘバ、俺ノ方デヤナケレ
バ出来ナイ、全ク何トモカントモ仕様
ガナイ、サウ言ハレバサウニ違ヒナ
イ、企業者ノ身ニナツテ見レバ、配給
ガナケレバ出来ナイ、生産ヲ増加セム
トスルモ能ハザルコト御承知ノ通りデ
アリマス、ソレニ付テ商工大臣ハドウ
云フ考ヲ以テ此ノ生産ヲ御助ケ下サル
カ、是ダケヲ承リタイ

○國務大臣 石橋退山君 非常ニ廣汎
ニ瓦ツテ御質問デアリマスガ、此ノ税
ニ付キマシテハ如何ニモ金額ノ増加シテ
居リマス、大體私が議會ニ於テ述べマ
シタ如ク、日本ノ經濟ガ、此ノ戰爭及
ビ終戦ニ伴ヒマシテ、非常ニ損害
ヲ受ケテ居リマス云フコトモ、是モ
申ス迄モナクコトデアリマス、ソレガ
ドノ位ノ額ニ上ツテ居ルコト云フコトハ
今正確ナ計算ハ出来テ居リマセヌガ、
先程御話ノヤウナ無論數字ニナルモノ
ト思ヒマス、デアリマスカラ實質的ニ
申セバ税ノ負擔能力ハ減ツテ居ル譯デ
アリマス、併シシナガラ一面ニ於テマシ
テハ、物價ノ騰貴ガアルト云フコトデ
詰リ金錢的ニハ、實質的ニハ物價ノ騰
貴ガ示シテ居ルガ如ク、我々ノ所得ト
云フモノハ實質的ニハ決シテ殖エテ居
ルトハ言ヘヌノデアリマスガ、金錢的
ニハ殖エテ居ル、サウ云フコトノ關係
カラ租稅收入等モ歲出ガ金錢的ニ殖エ
テ居ルト同様ニ、租稅其ノ他ノ收入モ
金錢的ニハ殖エテ居ルト見エテ居リマ
ス、租稅ニシマシテモ、昨年度ヨリハ
チヨット二十三億圓程度ノ租稅收入全
體トシテ殖エテ居リマスガ、併シ此ノ
程度ノモノハ、何時カモ申上ゲマシタ
ヤウニ、私共ノ主稅局デ長年ノ經驗及
ビ調査資料ニ依リマシテ、無論負擔ガ
國民ニシテ實ヘルモノト云フ計算ノ上
ニ建デマシタ次第デアリマス、ソレカ
ラ「インフレ」ノ問題デアリマスガ、
是ハ色々私ノ申上ゲタコトニ對シ諸方
面ニ誤解モアルヤウデアリマスガ、私
ハ終戦後一番心配ヲ致シマシタノハ、
當時カラモウ世間デハ「インフレ」「イ
ンフレ」ト云ツテ騒イデ居ツタ、確ニ
ソレハ通貨ガ膨脹シ、物價ノ騰貴ト云
フコトモ心配デナイノデハゴザイマセ
ヌガ、併シ是ハ財政上ニ非常ナ赤字ガ
年々ニ相次イデ現レテ、詰リ財政上カ
ラ通貨ノ膨脹ト云フモノガ起ラザル限

リ、「インフレ」ト云フモノハサウ心配
スベキモノデハナイ、是ハ理論的ニモ
亦今迄ノ歴史的ニ考ヘマシテモ左様ニ
信ジテ居ル譯デアリマス、處ガ終戦後
ノ狀況ハ、實際ニハドウ云フ形ノ「イ
ンフレ」ガ起ツタカト云フト、「アメ
リカ」アタリデモ是ハ起ツテ居ル「イ
ンフレ」デアリマスガ、過去ノ蓄積、
詰リ戰時中ノ國民ノ預貯金ト云フ形ニ
ナツテアリマシタ蓄積ガ流れ出シテ、
サウシテ「インフレ」ノ形ヲ呈シテ居
ルノデアリマス、併シ斯様ナ「インフ
レ」デアリ限リハ、起リマシテモ限度
ガアルモノデアリマス、ソレヨリモモ
ット心配ナノハ、終戦ニ依ツテ經濟界
ガ、産業ガ第一ニ虛脱状態ニナツテ生
產ガ縮小シ、サウシテ色々赤字ガ各
事業ニ現レル、其ノ結果、大整理ガ經
濟界ニ行ハレナケレバナクナツ
テ、一種ノ恐慌ガ起ルデアラウト云フ
コトヲ終戦直後モ心配致シマシタカ
ラ、言葉ヲ強メテ、心配スベキハ「イ
ンフレ」デナクテ却ツテ「デフレ」デ
アルト云フコトヲ申シテ居ツタノデア
リマス、現在ノ狀況ハ、或程度私ノ申
シタ通りデアリマシテ、今度補償打切
問題等ニ依ツテ政府自身ガ經濟界ノ整
理ニ或程度乗出スコトニナツテ居ル、
是ハサウ致スコトガ秩序アル整理ガ出
來、極端ナ恐慌ヲ起サズニ済ムコトト
考ヘマシテ居リマス譯デアリマス、之
ヲ放ツテ置ケバ矢張り斯ウ云フ整理ガ
行ハレ、隨分ヒドイコトニナルノデハ
ナイカ、今度政府ノヤリマス場合ニ於
テモ、一面ニ於テ、復興金融、其ノ
他ノモノデ、謂ハバ注射ヲ一面ニ於テ
ナシツ、ヤラナケレバ相當困難ガ殖エ
ルト思フノデアリマス、デアリマスカ
ラ唯「インフレ」ナラバ、「デフレ」

政策ヲ取ルナラバ簡單ニ片付クノデア
リマス、「ドレイ」ノアノヒドイ「イン
フレ」デモ「レンテン・マルク」デ片
附ク、單ナル「インフレ」ナラバ非常
ニト云フ譯デアリマセヌガ、割合ニ
手術ハ容易デアリシ、又今日ノ一種ノ
不景氣、恐慌状態ガ矢張り景氣變動ノ
普通ノ場合ニ起ル恐慌デアルトカ、不
景氣ナラバヤリヤウガアルノデアリマ
ス、處ガ今日ハ普通ノ意味デ「インフ
レ」デナシニ、サウカト云ツテ普通ノ
意味ノ「デフレ」デモナイ、ダカラ私
ハ議會デ、單ニ購買力ヲ注入シタカラ
ト云ツテ日本ノ經濟ガ立直ルモノデハ
ナイ、ダカラ是ハ生産増強ト云フ方面
ニ行カナケレバイカヌ、單ナル「デフ
レ」、「インフレ」ナラバ手術ハ簡單デ
アリマスガ、サウモ行カナイ、斯ウ云
フ所ニ憐ミガアリマス、其ノコトヲ私
ハ終戦後絶エズ申シテ居ツタ考ヘデア
リマス、其處デドウシテモ此ノ狀況ヲ
立直スニハ生産第一主義デ進マナケレ
バナスト私ハ考ヘテ居リマスシ、現在
ノ政府全體ハ左様ニ考ヘテ居ルト信ジ
テ居ル譯デアリマス、其ノ生産ノ増加
スル方法ハ、矢張り御言葉ノ通り容易
ナラザルコトデアリマシテ、ナカノ
口デ言フヤウニハ行キマセヌ、其ノコ
トモ能ク感ジテ居リマシテ、常ニ關係
同志申合セモシ、何トカ之ヲヤラナケ
レバ、單ニ政府ガ困ルトカ、政府ガド
ウカト云フコトデアナイ、國ガドウナル
カタ云フ問題デアリマスカラ、是ハド
シナコトガアツタモシテヤラナケレバ
ナラヌト云フコトヲ常ニ考ヘテヤツテ
居ル次第デアリマス、其ノ第一段ノ所
作トシテハ、石炭ノ増産ヲ一ツドウシ
テモヤラナケレバナラヌ、之ニ付テハ
或ハ思ヒ切ツテ補給金ヲ出シテ、サウ

シテ石炭業者ニドシナコトガアツテモ
十月迄ニハ増産ヲサセル、八月一杯
ニ計畫ヲスツカリ立テマシテ、實銀、
其ノ他ノ合理化ヲ行ヒ、又選炭ノ設備
ヲヤリ、ソレカラ又炭質ノ検査ヲ行フ、
サウシテ坑木ガナイトカ、食糧ガナイ
トカ云フヤウナ口實ヲ許サナイ、斯ウ
云フヤウナ制約ノ下ニ八月カラ準備ヲ
シテ十月迄ニハ必ズ計畫生産量ノ所迄
持ツテ行ク、少クモ計畫生産量ヲ多ク
シテ、而モ品質ノ良イ石炭ヲ出スト云
フコトガ邁進ヲ致スコトニナツテ居ル
ノデアリマス、唯チヨツト今日色々ノ
關係ガアリマシテ、色々ノ方面ニ交渉
ヲ致サナケレバナラヌヤウナコトカラ
行キ間ヘテ居ル點ガアルノデアリマス
ガ、目下サウ云フヤウナ「ライン」デ
一應交渉中デアリマス、是ハ無論十月
迄ノ暫定處理デアリマシテ、後ハ其ノ
根本對策ヲ速ニ立テ、石炭ノ増産、何
ハ兎モアレ石炭ノ増産ト云フコトニ先
ヅ第一ニ着手ヲ始めタ譯デアリマス、
其ノ他ノ點ニ付テハ商工大臣及農林大
臣ノ方カラ御答ヘ下サルコトと思ヒマ
スガ、ソナヤウナ積リデ、實ハ政府
トシテハ此ノ生産増加ト云フコトニ、
モウ何物モ棄テテ立チ向フト云フ決心
ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、其ノ場
合ニ、先般モ松尾委員カラ御話ガアリ
マシタガ、色々統制ニカ、ツテ實際ニ
民間ノ者ガ仕事ヲシヨウトシテモウマ
ク行カナイ、之モ能ク政府トシテハ認
メテ居ル所デアリマシテ、ソレ等ノ點
モ著々何トカ直シテ、モツト自由ニ各
民間ノ業者ガ各自ノ創造、各自ノ「イ
ニシアチブ」ヲ發揮シテ活動ガ出來ル
ヤウナ制度ニ成ルベク速ニ持ツテ行キ
タイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル譯デア
リマス、ソレカラ實業ノ御話、是ハマ

ダ地方デヤツテ居ルト云フヤウナ御話
デアリマスガ、一箇所試験的ニヤリマ
シテ、其ノ成績ヲ見テ居ル次第デアリ
マスガ、私ノ考トシテハ、云フ種類
ノモノハ地方ノ事業ト結び付ケルコト
ニ依ツテ始めテウマク成功スルモノダ
ラウト考ヘテ居リマス、中央ノ政府ガ
東京デ煙草ヲクツ付ケテ賣ルト云フヤ
ウナコトデハ、是ハモウ行キ詰ルノデ
ハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、
斯様ナモノハ成ベク一ツ地方ニヤラシ
タイト云フ考ヲ私ハ持ツテ居リマス、
其ノ爲ニハチヨツト法律ヲ必要ト致ス
譯デアリマス、是ハ別段大シタ法律デ
ヤアリマセヌガ、一ツノ法律ノ中チヨ
ツト一部分ヲ修正スル程度ノ法律案ヲ
近イ中ニ、是ハ只今非常ニ法律案ガ多
イ爲ニ、法制局アタリノ能力ガモウ手
一杯ニナツテ居リマシテ、ナカノ仕
事ガ運ビニクナツテ居リマスガ、併
シ是ハモウ直グ片附キマスノデ、左様
ナ法律ノ改正案ヲ御審議願ヒマシテ、
サウシテ地方デ實績デアリマスツカ、
或ハ割増金付ノ貯蓄デアリマスツカ云
フヤウナモノガモウ少シ地方的ニ行ハ
レルヤウナ方策ヲ講ジタイト考ヘテ居
リマス

○國務大臣(和田博雄君) 私ノ關係シ
マスル點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲ
マス、食糧ノ増配ノ問題デゴザイマ
スガ、是ハ何ト云ヒマシテモ、産
業ヲ再建シマスルツ云フ點カラ考
ヘマシテモ、亦生産ノ増加ニ依ル
「インフレーション」ノ防止ト云フ點カ
ラ考ヘマシテモ、亦國民ノ營養ヲ見
地、其ノ他色々ノ點カラ考ヘテ、今ノ
基準ノ配給量ヲ殖ヤシテ行クト云フコ
トガ必要デアリマスツ云フコトニ付テ
ハモウ議論ガナイと思フノデアリマ

ス、幸ヒ今年ハ此ノ僅ノ狀況デ行キマ
スレバ、松尾サンノ仰ツシヤイマスヤ
ウニ、相當ノ米モ穫レマスシ、又甘藷
モ可ナリナ製作ノ氣構ヘデアリマス、
ソコデ政府トシマシテハ、是ハ出來ル
ダケ早イ機會ニ、國民ニ安心感ヲ與ヘ
マスル點カラ言ヒマシテ、來年ノ食糧
年度カラハ、所謂今年ノ十一月カラ始
マリマス食糧年度カラハ、米ノ出廻ノ
狀況等ヲ十分睨ミ合セテ増配ヲ致シテ
行キタイ、斯ウ思フノデアリマス、其
ノ準備ヲ我々トシテハ致シテ居ルノ
デアリマスガ、是ハ御承知ノヤウ
ニ、全體ヲ考ヘマスルト、來年ノ食糧
年度ト雖モ、矢張り或程度ノト云ヒマ
スカ、輸入ヲ俟テマセヌト需供給ノ
「バランス」ハ是ハ合ヒマセヌ、ト申
シマスノハ、唯茲デ増配ヲ致シ、又農
家ノ保有量ト云フモノニ付テモ、之ヲ
ハツキリト認メ、其ノ他生産再開等ニ
必要ナ點ニ付テ十分考慮ヲ拂ヒマス
ト、需量點ト云フモノハ相當ノ數ニ上
リマス、ソコデ來年ノ食糧年度ニ致シ
マシテモ矢張り或程度ノ輸入ヲ俟タネ
バナラヌノデアリマス、サウ云フヤウ
ナ關係ガゴザイマスノデ、其ノ關係方
面トモ色々打合せヲ致シマスノデ、
マダ幾ラニスルカト云フコトニ付テノ
發表ハ實ハ致シ難ヘルノデアリマスル
ガ、我々トシマシテハ、松尾サンノ御
意見並ニ一般ノ人達ノ何カラ考ヘマシ
テモ、十分一ツ早イ機會ニ食糧ノ基準
量ヲ上ゲルツ云フコトニ致シマス、斯
ウ努力致シテ居ル譯デゴザイマスル
デ、左様ニ御了承ヲ御願ヒ致シタイト
思フノデアリマス、ソレカラ肥料ノ點
デアリマスガ、肥料行政ノ一元化ノ
點ニ付キマシテハ、今一番必要デアリ
マスルノハ、是ハ石炭ノ増産致シマシ

テ、ソレカラ片方デハ食糧ノ供給ヲ確
保致シマシテ、サウシテ其ノ他ノ産業
ヲ興スト云フコトデアリマスノデ、肥
料ニ付テモ實ハ増産第一本位デヤツテ
行ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ機
構ノ一元化ノ點ニ付キマシテハ、是ハ
農林省デアルトカ商工省デアルトカ云
フヤウナコトニ因ハレルコトナクシ
テ、何等カノ形デ之ヲハツキリ一元化
シマシテ、サウシテ二二年ノ増
産……「トシ」デモ多ク増産ヲスル
ヤウニ致シタイ、斯ウ私共ハ考ヘテ居
ルノデアリマス、從來ソレノ新聞紙
上デ、恰モ農林省ト商工省トガ如何ニ
モ機構問題ニ付キマシテ爭ツテ居リマ
スヤウナ報道ガ出マスコトハ、是ハ我
我トシテハ甚ダ心外ニ存ジテ居ルノデ
アリマス、我々ノ方ト致シマシテモ、
商工省モ勿論私ハサウダト思フノデア
リマスガ、從來ノヤウニ所管ニ因ハレ
テ、所謂所管爭ヒヲスルト云フ氣持ハ
毛頭ナイノデアリマシテ、唯謂ハバ一
日モ早ク増産スル、ソレニハドウシタラ
宜イカト云フコトニ付テ、ソレノ「兩
省ノ間ニ於キマシテ眞劍ニ研究致シマ
シテ現在デハヤツテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマシテ、其ノ點ニ付キマシテ從
來色々ノ非難モ受ケルノデアリマスル
ガ、サウ云フ點ニ於テハ我々トシテ尤
モダト思ヒマスコトハ、常ニ反省致シ
テ之ヲ改善致シ、改メテ參ツテ居ツタ
事情カラ言ヒマシテ、尙一層今ノ緊迫シタ
チ食糧ノ増産デゴザイマスノデ、ソレ
等ノ點ニ付キマシテハ、何等カノ形ニ
於ケル機構ノ一元化ヲ行ヒマシテ、
其ノ點ニ付テノ目的ヲ達成シタイ、斯
ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○國務大臣(島田二郎君) 松尾委員ノ
御尋ノ中デ大體大體大臣ヨリ、或ハ農
林大臣ヨリモ既ニ御答ヘシタ通りデア
リマシテ、多ク私附加ヘル必要ハナ
イト思ヒマスガ、實際人ヲ動かカス
ニハ食糧、機械ヲ動かカスノハ石炭ト
云フコトハ分リ切ツタコトノヤウデ、
之ニ當面致シマス、實ニ影響ノ深刻
ナノハ驚イテ居ル譯デアリマシテ、
「トシ」デモ多ク石炭ヲ出シタイト
思ヒマシテ、色々苦慮致シテ居ルノデ
アリマスガ、是モ結局食糧問題ニ起因
シテ居リマス、今ノ處、大體月産百六
十萬「トン」餘リ、百七十萬「トン」
イ目安ヲ持ツテ年産二千三百萬「トン」
ヲ大體ノ標準ト致シマシテ、來テ居リ
マスガ、一時勞働問題、殊ニ生産管理
ノ問題ガ北海道ニ起キマシテ、非常ニ
心配ナ狀況ニナツテ居リマシタガ、政
府ガ社會秩序維持ニ關スル聲明ヲ發
シ、斷乎トシテ生産管理ヲ排撃スルノ
方針ヲ確立シ、同時ニ徒ニ勞務者ヲ抑
ヘルト云フ方針デハナクシテ、經營協
議會ノ如キモノヲ設ケテ、十分勞務ノ
間ノ協調ヲ保ツタ方策ヲ執ラナケレバ
ナラヌト云フコトガ昨今徹底スルト同
時ニ終戦直後ノ少シ行キ過ぎタ感ジカ
ラ稍々後戻リシタ感ジガ社會一般ニモ
アリマスル如ク、石炭勞働界ニモ凡ソ
ソレト並行シタ思想ガアリマシテ、昨
今ハ甚ダ喜バベキ現象ニナツテ參リマ
シテ、先程九州ノ方面カラモ一般ノ配
給ヲ止メテデモ福岡縣ノ如キ缺配シナ
ガラモ石炭山ナドニ對シテハ加配ヲ斷
行シマシテ云フヤウナコトニ非常ニ感激
致シマシテ、勞働組合ノ代表者ガ職ニ
禮ニ商工省ニ參ツタヤウナ事實モアル
ノデアリマシテ、是等ノ精神ガ加リマシ
テ、昨今稍々豫定ニ近イ程度ニナツテ

参りマシタコトハ誠ニ御同慶ノ至リデ
アリマス、併シドウシテモ、是デハ足
ラヌノデアリマシテ、私ハ寧ロ許サレ
ルナラバ若干ノ輸入ガ欲シ、殊ニ製
鐵ノ如キハドウシテモ日本ノ炭ヨリモ
北支炭或ハ佛印炭支那等ノ炭ガ良イ
ノデアリマス、之ヲ要請致シテ居
リマス、一應斯ウ云フモノヲ入レテ載
キマス、有ラユル點ニ於キマシテ
「セメント」ノ増産モ出來ル、「セメ
ント」ノ増産ガ出來ル云フ「ダム」
ガ修繕出來タリシテ水力電氣ガ殖エ
ル、其ノ電力ガ殖エバ石炭ガ多少
節約出來ルト云フヤウナ有ラユル方面
ニ影響スルノデ、取敢ヘズ或ル時期ノ
間デモ是非石炭ノ輸入ヲ仰ギタイ、斯
様ニ考ヘテ今要請シテ居ル譯デアリマ
スガ、未ダ十分ノ答ハ得ラレマセヌケ
レドモ、併シ消極的ニ日本カラ朝鮮並
ニ香港ニ出シテ居リマス石炭ハセメ
テハ止メテ賣ヒタイ、之ヲ司令部ノ
方ニ御願ヲ致シマシテ、其ノ事實ヲ認
メラレマシテ、先々月以來香港ニ向ケ
テ送ツテ居リマシタモノハ直チニ中止
ヲサレマス、朝鮮ニ向ケテ居リマ
シタ石炭モ殆ド半減スルヤウナ結果ニ
ナリマシテ、大體日本ノ國內事情ヲ同
情ノ態度ヲ以テ之ニ處置サレテ居ルコ
トニ對シテ感謝シテ居ルヤウナ譯デア
リマス、先ツ此ノ様子デ行キマス
レバ今ノ見解ハ大體目的ニ達出來
ルト思ヒマス、尙業議院等ノ各政
黨ニ於キマシテ、今回食糧増産對策委
員會ト同ジヤウニ石炭増産ハ單ナル食
糧ノ加配米トカ云フデハハイカヌ、
本當ニ目覺メテ勢資共ニ國家ノ再建ノ
爲ニ奮起シテ精神的ナ運動ヲシナケレ
バナラヌト云フヤウナ聲モ起ツテ居リ
マス、斯ウ云フモノガソレ、

端送行届イテ行キマスナラバ、必ズヤ
二千三百萬「トン」ハオロカ三千萬
「トン」近イ所迄出シテ呉レマス、
「概ニ總テノ仕事ガ順調ニナル譯デ
ゴザイマス、昭和十六年デアリマシタ
カ、一時五千萬「トン」モ出タコトガ
アリマスガ、是ハ尤モ濫掘ヲ唯戰爭ノ
爲ニ無暗ニ出シタノデアリマス、ケレド
モ、三千萬「トン」位ハ本當ヲ言ヘバ
出サウト思ヘバ出セヌコトハナイダラ
ウト考ヘマス、今後十分留意致シ
マシテ其ノ邊ノ目的達成ニ萬遺憾ナキ
ヲ期シタイと思ツテ居ル次第デアリマ
ス、尙肥料問題ハ和田農林大臣カラ申
上ゲタ通りデアリマシテ、熱心ノ餘リ
理論的ニハ如何ニモエライ競争ガ行ハレ
テ居ルヤウデアリマス、ケレドモ、是ハ
是非此ノ内閣ノ間ニ總テ話合付ケマ
シテ順調ニ仕事ガ進ミマスヤウニヤリ
タイトス様ニ考ヘテ居リマス

○松尾國松君 有難ウゴザイマシタ、
今大體分リマシタガ、大藏大臣ニ申上
ゲマシタ第二封鎖カラ納稅ニ當テルコト
ノ御返事ト云フカ御説明ヲ御願ヒシタ
イト存ジマス、ソレカラ地方デ富藏實
驗ヲ出シマス場合ニ於テノ剩餘金ヲ國
庫ニ収メテシマハズ、地方ニ全額交
付シテ賣ヒタイト云フコトヲ申シテ居
リマシタガ、是ハ含シテ賣ヘバ宜イ、終
リニ私ハ特ニ商工大臣ニ御願ヒシテ置キ
タイノデスガ、勿論ニ大臣ノ御方モ同
ジコトデアリマスガ、私ハ特ニ商工大
臣ニ御願ヒシタイノハ、最後ノ御言葉
デアリマス、連絡デアリマス、成程熱
心ノ餘リト云フ御話ヲ伺フガ、是ハ私
モ一應御尤モ存ジマス、併シ私
共ガ聞イテ居ルト熱心ダカ、自己主觀
的ノコトカチヨット能ク分ラヌノデア
リマス、此ノ點ニ付テハ特ニ私ハ商工

大臣ノ政治的御考ヲ以テ大藏大臣或ハ
農林大臣ノ方ニ何ト言ヒマスカ御援助
ト云フト言葉ガ惡イカモ知レマセヌ
ガ、一ツ御協力ヲ願フテ、我々ガ何處
ヘ行ツテモ話ハ成ル程尤モダト云フヤ
ウニ御連絡ヲ御願ヒシタイト云フコト
ヲ特ニ私ハ商工大臣ニ御願ヲ致シテ希
望ヲ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(石橋通山君) 第二封鎖カ
ラノ税金ノ問題ヲ落シマシタガ、是ハ
本年分ノ賦課課稅ニヨル所得稅、本年
八月十日以前終了事業年度分ノ法人稅
等ハ第二封鎖カラ支拂シテ宜シイト云
フ告示ガモウ既ニ出テ居リマス、ソレ
カラ實驗ノ方ハ先程申上ゲマシタヤウ
ニ試驗的ニヤリマシタノデ、アレハ確
カ國庫ハ半分ト云フヤウナコトヲヤ
ル、ソレハ實ハ國デ出スト云フ豫算ニ
モアリマスガ、國デ實驗ヲ出スコトニ
ナツテ居リマス、其ノ一部ヲ出サシメ
タト云フヤウナ關係デ、是ハ前内閣時
代ノコトデアリマスガ、何カ半分々々
ト云フコトニシタヤウデアリマス、今
後ハモウ少シ考ヘヨウト存ジテ居リ
マス

○長島銀藏君 私人質問ハ松尾委員ノ
蛇足ニ値スル以外ノ何モノモナイカモ
知レマセヌガ、チヨット氣ノ付イタ所
ヲ御當局カラ承ツテ置キ、又自分ノ希
望モ申上ゲテ見タイト思フ譯デアリマ
ス、實ハ戰時中ニ多クノ國民ガ本當ニ
家財モ何モ彼モ全部爲有ニ歸シマシ
テ、或ルモノハ爆撃ノ爲ニ、御氣ノ毒
ニモ懸レタリナンカシタ譯デアリマス
ガ、或ハ負傷ヲシタリナンカシテ生キ
殘ツタト云フ方ガ、若シ是ガ死シテ居
ル場合ナラバ、今我々ガ要求シタイト
思フヤウナコトハ無論申サヌ譯デアリ
マス、斯ウ云フ方ガ生キ殘ツテ、

是カラ敗戦日本ヲ再建シテ行カナケレ
バナラナイ、ソレカラ税金ナンカモ出
來ルダケ澤山御納メシテ行カナケレバ
ナラナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘマシタ
場合ニ、ドウカ是レダケハ一ツ政府御
當局トシテモ、國民ノ聲トシテ御聽取
願フテ置キタイト斯ウ思フ譯デアリマ
ス、昨日ノ本會議ノ時ニモ、私が今申
上ゲヨウストルコト同ジヤウナ議論
ヲ出シタ方ガゴザイマシタガ、假ニ保
險金ヲ十萬圓掛ケタル、サウシテ其
ノ十萬圓ガ特殊預金ニナツタ、特殊預
金ニナツテ、今度ノ新シイ方法デ行キ
マスルト云フト、五萬圓ダケハ個人ノ
懐ロニ入ル、後ノ残り五萬圓ハ棒引ト
云フ至ツテ簡單ナ計算ニナツテ居リマ
ス、處ガ昨年ノ終戦前後ノ物價ト、今
日ノ物價ハ倍ニナツテ居リマ
ス、ソコデ私ハ五萬圓ハ金ノ面デ取レ
ルガ、後ノ失ハレタ五萬圓ハ十倍ダカ
ラ、五十萬圓ト云フコトニナル、其ノ
五十萬圓カラ五萬圓ヲ引キマス、殘
リハ四十萬圓、是ガ完全ナ損失ニナ
ル譯デアリマス、ソレカラ幸ヒ燒ケ殘
ツタ人ハ、當時ノ十萬圓ガ現在ハ其ノ
十倍デアリマス、是ハ百萬圓ニナ
ツテ居ル譯デアリマス、ソコデ百萬圓
ニナツテ居ル人ト、燒ケテ五萬圓賣ツ
タ人ノ差ト云フモノハ、兎モ角モ九十
五萬圓ト云フ明カナ差ガ出テ居ルノデ
アリマス、ソコデ今度ハ此ノ九十五萬
圓ト云フソレダケノ大キナ差ガアルニ
モ拘ラズ、ソレハ成ル程昨年ニ於キマ
シテハ、罹災者ニ對シテハ所得稅ハ免
除サレマシタケレドモ、本年ニ入ツテ
果シテ、其ノ免除ガ行ハレカ否ヤト
云フコトハ、我々ハ存ジテ居リマセヌ
カラ伺ヒタイノデゴザイマス、之
ヲ新シイ稅率ニ依リマシテ課稅スルト

何ガシカノ「バーセンテーヂ」ニ依ツテソレガ、生キルヤウナ途ヲ開シテ戴キタイ、國民全部ガサウナレバ非常ニ安心立命ヲ致シマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ、聯合軍當局ニモウ一度モ二度モ三度モ御願致シマシテ、少クモ民主主義の日本ガ「アメリカ」ノ標榜スル自由主義ニ矢張り倣フテ行クノドト云フ者デ「スタート」ヲシテ居リマス關係上、日本人ニモドウカ民主主義の自由ヲ與ヘテ貰フヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ尙私ハ「打切り」ニ依リマシテ、事情ノ國民ニ對シテハ非常ニ惡イ感情ガ残サレテ居ルコト思ヒマス、ソコデ政府ヲ信賴シナクナツタト云フヤウナ意味合ノ惡イ感情ガ残サレテ居リマスルカラ、之ヲ政府ヲ信賴スル觀念ニ引キ展シマスルニモ、非常ニ有効適切ノ方法デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、將來マダ「政府」ト致シマシテハ、國民ノ詰リ愛國心ニ觀ヘテ、或ハ赤字公債トカ、色々ナ其ノ他ノモノヲ負擔シテ賈ハナレバナラナイコトトモ思ヒマス、ソレデアリマスルカラ、此ノ信義ノ國、マア聯合軍ニ對シマシテソレ等ノ事情ヲ慮ト御陳情ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ今度ハ保險會社ノコトニ付テ、又是モ擔稅力ニ影響ガアリマスルカラ御尋ネシタイノデアリマスルガ、戰時中政府ガ保險會社ニ對シマシテ補償ヲスルト云フコトナリマシテ、今度ハ政府自體、軍自體、色々ノ監督關係ハ戰災保險ニ入ツテ、戰災保險ニ入ラナレバ其ノ保險契約ハ無効ニナルト云フコトデ、保險契約ノ裏面ニ書イテアリマス條項ニ依ツテ、戰爭ノヤウナ場合ノ災害上云フモノハ契約面カラ行キマスルト云

フト無効ニナルノドト云フコトデアリマシテ、當時戰災保險ニ付キマシテハ政府自體モ御推獎ニナツタ譯デアリマスルガ、ソコデ之ヲ民主的ノ見解カラ考ヘマスルト云フト、兎モ角保險金ヲ支拂ツタ譯デアリマス、處ガ今度ノ新シイ處置ニ依リマス、保險金ハ幾ラ拂ツテアツテモ、ソレハ考慮ニ入レテナイ、個人デアアルナラバ最高五萬圓ハ認メルガ、後ハ棒引ダ、斯ウ云フコトニナリマスガ、私ハソレデハ非常ニ影響スル所ガ大キイノデアリナイカト思フ響スル所ガ大キイノデアリナイカト思フ譯デアリマス、少クモ支拂ツタ場合ニ、當然保險契約ノ條項ニ基キテ、其ノ金額ガ返ツテ來ナレバナラナイ譯デアリマス、ソコデ政府ガ補償スル五萬圓ト云フモノハ、其ノ補償額シテ幾イテ幾イテ御支拂ヒ願フ、ソレカラ保險會社ハ受取ツテ居ル保險金ニ對スル應分ノ保險料ヲ同時ニ支拂フト云フコトニ依ツテ、難儀ヲシテ居ル所ノ國民ヲ救済スル途ガナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイト思ヒマス、又サウ云フ方法ガアルナラバ一ツ御考慮ニ置イテ裁キマシテ、保險會社、或ハ保險會社ヲ監督スル商工省ノ保險局デスカ、サウ云フ所トモ御話合ニ與リタイト、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ、今度ハ先程御話シマシタ所ニモウ一遍展ル譯ナデスガ、燒ケタ者ト燒ケナイ者トノ相違ハ、先程申上ゲタ通り單ニ保險會社カラ取ル金デケノ程度デハゴザイマセヌ、洋服一著買ヒマシテモ、當時ハ七十圓モ出セバ相當ナ物ガアリマシタガ、今デハ數千圓、ソレカラ家庭道具ノ鍋、釜ニ至ル迄、ソレヲ當時ノ金額カラスレバ一ツ簡單ナ價格デアリマシタノデスガ、現在ハ矢張り

リ是モ物ニ依ルト百倍近クシテ居リマス、是等ノ物ヲ見積リマス、實ニ大キナ金額ニナルノデアリマスガ、之ヲ共產主義の考ヘルナラバ、燒ケ殘ツタ人ノ財產モ燒ケタ人並ニ、一遍「アト」ル「計算」カナンカニ入レテ、サウシテ國民ガ分ケタラ宜イノデアリナイカト云フコトモ或ハナルカモ知レマセヌガ、私ハソナナ極端ナコトヲ申上ゲル譯デアリマス、税金ヲ取ル上ニ於テハ容易ニ御考慮ガ拂ハレル、完全罹災者ハ、私ハ少クモ數十年間或ハ數年間ハ完全罹災者、或ハチヨツト燒ケタ人、或ハ疎開ヲ全然シナカッタ人ト云フヤウニ分ケテ裁キタイト思ヒマス、其ノ理由ニスル所ハ、當時頗ノ非常ニ良イ市長ナカガ居リマシテ、早ク疎開シテ方ガ安全デカラ疎開シ、或ハ非常ニ處置ガ宜カッタ市モアリマシ、幾跡ヲ見テ裏メラレタ市モアリマシ、サウカト云ツテ、ドウモ非國民のナ行動デアツテ、我々ハモウ非國民自分ノ國ノ本土ノ海岸近ク迄ニ誘ヒ寄セルノデ、ソレニ對シテ九デ負ケタト同ジヤウナ風ニ、荷物ヲ車ヘ積ンデ、家内中デ山ヘ避難スルト云フヤウナコトハ、實ニ非國民のデアルト云ツテ非難スルコトモアリマス、ソレガ良カツタカ惡カツタカト云フコトハ、私ハ今申シマセヌケレドモ、兎ニ角日本人ノ氣持ト云フモノハ、當時ハソレ位ニ差ガアリマシタ、ソコデ其ノ今ノ家財道具トカ何トカ云フ問題ニナツテ來マス、罹災ヲシナカッタ人トシタ人トノ差ハ實ニ大キナコトヲ能ク御認識下サイマシテ、課稅方針、其ノ他ニ付キマシテハ國民モ救済出來、ソレカラ同時ニ日本ヲ救ヒ得ルノドト云フ下地ヲ此ノ際特ニ石橋大藏大臣ニ御願ヒ

シタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ課稅上ノ問題ニ屬スルノデアリマスガ、現在紙幣ガドノ方面ニ堆積サレテ居ルカト申シマス、モウ皆樣モ既ニ御承知ノ通デアリマスガ、農村ニ大體多イノデアリマス、其ノ次ニ漁村、ソレカラ又最近迄日本ノ法律上ノ製射ヲ受ケナイ所ノ營業者、詰リ日本人以外ノ方デアリマスガ、斯ウ云フ方ノ懷中深ク藏シテ居リマシテ、ナカナカ一般人ノ懷ニハ入ツテ居リマセヌ、銀行ニモ預金ハチヨツト出來ナイト云フ理由ハ、是ハ紙幣ガ澤山有餘ツテ、銀行ノ信用ガ無イカラ入レナイト云フカリデハアリマセヌ、實際ニ眞面目ノ國民ノ懷中ニハモウ金ガナイノデアリマス、ソレデ増稅ヲサレルニ從ヒマシテ、其ノ税金ヲ完納出來ルヤ否ヤ程出來ナイ譯デアリマス、例ヘバ生眞面目デアツタ實業家トカ供給生活者、或ハ株券ノ配當金、國債ノ利子、ソレカハ眞面目ナ意味ノ地主デアリマス、或ハ家ヲ貸シテ家賃ヲ取ツテ居タト云フ者ハ、賣賣ガアツテモハ全ク擔稅能力ガゴザイマセヌ、ソレデアリマスカラ、閣下何カヲシテ居タヤウナ者トカ、或ハ無闇ニ物ヲ高ク賣付ケテ、殆ド帳簿ニモ何モ記載シテ居ナカッタヤウナ飲食店トカ、或ハ又先程申シマシタヤウナ、日本ノ法律ノ掣肘ヲ受ケテ居ラナイ方々トカ、サウ云フ所カラ適當ナ方法ヲ講ゼラレマシテ、澤山ノ税金ヲ此ノ際取ツテ裁ク、サウ云フ工合ニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、ソレカラ今度ハ軍需生産ニ關スル賠償金ノ問題ニ付テチヨツト御尋ネシタイノデスガ、軍需會社トカ或ハ個人デアリマシテモ、工場ヲ持ツ

テ居ル者ガ軍カラ示達ヲ受ケマス、海軍省ノ例デ言ヒマス、内示ト云フノガ「アリアリマシテ、其ノ他ニ示達ト云フノガアリマス」、示達ト云フノハ生産ノ設備ヲ増大スルト云フノデアリマスガ、其ノ示達ニ依リシテ色々設備ヲ擴充シ、ソレカラ内示ニ依リマシテ註文ヲ受ケテ、其ノ品物ヲ納メヨウト云フ時ニ、終戦ニナツテシマツタ場合ノ例ヲ以テ御伺ヒスル譯デアリマスガ、現在ハ其ノ補償ガ打切ダト云フデケデ、殘務整理部ニ廻サレテ居リマス、ソレデハドウシシテモ國庫ガ責任ヲ負フベキ筋合ニナツテ居ルニ拘ラズ、軍需補償打切ト云フコトニ聯合軍ノ方ノ御指令モアツテ、サウナツテ居ルサウデアリマスガ、處ガ之ヲ賈ツテシマツタ所テ居ルカト云フト、此ノ間モ開イテ見マス、示達トカ何トカ、サウ云フ風ニ完全ナ命令デナツテ、係官ト口約束デ軍ノ仕事ヲ進ンデ行ツタ者ハ、前位金ヲ賈ツテシマツタアル、斯ウ云フ話デアル、是ハ金ハ返スノドト云フ御話ガアツタノデスカレドモ、金ハ返サナクテモ宜イラシイヤウニ聞イテ居ルマサガ、是デハ全クノ不公平ダト私ハ考ヘマス、ソレデ若シ軍需補償ガ打切ラレシマツタ人カラ見マシテ、此ノ人ガ若シ銀行カラ借金ガアツタ場合、其ノ借金ハ軍ノ裏付ケニ依ツテヤツタ借金デナク、單ニ銀行信用ニ依ツテ銀行ガ金ヲ貸與ヘタ、其ノ貸與ヘラレタ資金デ以テ設備ノ擴充ヲシタ、或ハ商品モ造ツタ、或ハ之ガ焼ケテシマツタ、今ノ特殊預金ニナツテシマツタヤウナ人ハ明カニモウ損失トシテ永久ニ返ツテ參リマセヌガ、此ノ場合ニ補償問題ト銀行ノ借金ト云フモノハ大藏

當局カラ見ルトドウ云ツタ救済方法ガ講ゼラレルノデアリマセウカ、斯ウ云フコトモ、一ツ考ヘテ戴キタイと思フノデアリマス、尙之ガ救済サレナイ場合ニ昭和二十一年度ノ損失トシテ永久ニ繰面ニソレガ繰ル譯デスガ、其ノ繰ツタモノハ是カラ先ニ起リマス處ノ經營ノ勘定中ニ損失トシテ又認メテ賣ヘルカドウカト云フコトニ付テモ一ツ御意見ヲ拜聴シタイト考ヘル譯デアリマス、ソレカラ又是モ道義的ナ話デゴザイマスルガ、軍人トカ軍屬トカ其ノ他官吏ト云フ者ハ人生ノ大半ヲ國家ニ盡シマシテ、サウシテ恩給ニ依ツテ老後ヲ營ンデ行クト云フコトガ今迄考ヘラレテ居ツタノデスガ、此ノ恩給ト云フモノハモウ打切りニナツタノデアリマスルガ、其ノ人等ハドンナ考ヲ持ツテ居ルドラウカト云フコトヲ私ハツクヅク考ヘマス、道義日本ヲ建設シテ行ク上ニ於テハ、斯ウ云フ風ナ者ヲ是非數フ途ヲ大藏省ハ考ヘテ戴キタイ、是ハマア道義デケノ問題デアリマスルガ、斯ウ云フ非常ノ際ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲルト云フト生溫イ話ヲスルヤウニ御聽取リニナルガモ知レマセウカ、道義ガ完全ニ行ハレナケレバ、結局撥税力ガ假ニアツテモソレハ胡魔化シテ逃ゲノ手ヲ打チマス、又徵收令狀ガ來マシテモ、ソレニ對スル實際ノ撥税力ノナイ連中ノ處理ナント云フコトニ付キマシテモ、色々又苦心ガ要ル譯デアリマスガ、サウ云フコトノヤリ易イヤウニ致シマスルニハ、ドウシテモ道義ト云フコトヲ目標ニ進ンデ戴カナケレバ、ラナイノデアリマス、ソレカラ今度所得税ニ付キマシテ申上ゲタイノデゴザイマスガ、所得税第十一條ノ第一號ニゴザイマス軍ハ、軍屬ノ手當ノ削除ガ

ゴザイマスルガ、是ハ公務員トシテ例ヘバ手當ヲ假ニ貰フコトニ致シマスルガ、公務員ノ手當ト云フモノニ課税ヲサレナイヤウナ工合ニ、サウヤウニ填メ換ヘテシマフコトハ出來ナイドラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、是ハ大藏大臣ノ一ツ御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス、所得税ノ第十一條ノ第一號ニ軍人ニ對スル免稅ト云フモノガ、新法ニ依リマス削除サレテ居リマス、ソレカラ今度ハ扶養家族及子供三人ノ標準ヲ取ツテ見マスルト云フト、勤勞所得ニ依ル場合ト事業所得ニ依ル場合ト二ツヲ計算ラシマシテ出シテ見タノデアリマスガ、一年間ニ二萬圓ノ收入ノアル者ガ使ヘル金ハ一萬一千圓デアリマス、ソレカラ三萬圓ノ場合ニハ事業所得ヲ行キマスルト、一萬五千六百二十二圓ト云フ税金ヲ拂ヒマシテ、結局使ヘル金ハ一萬三千三百三十二圓、五萬圓ノ場合ニハ使ヘル金ガ一萬六千八百二十三圓、ソレカラ十萬圓ノ場合ニハ二萬二千八百二十一圓八十錢、ソレカラ二十萬圓ノ收入ノ場合ニハ使ヘル金ガ二萬九千三百二十一圓八十錢、三十萬圓ノ收入ノ場合ニハ三萬一千四百二十一圓八十錢、是ダケガ自分ノ使ヘル金トナツテ居リマシテ、後ハ全部課税サレテ居ル譯デアリマス、假ニ此ノ物價高ノ時代ニ於キマシテ、一年間ニ子供ガ三人アツテ女房ト自分、詰リ五人暮シデ二萬圓ト云フト月ニ一千五百圓、是ハ勤勞所得ノ場合ハ收入デアリ、事業家トシタ場合ニハ、二萬圓ノ事業ト云ツタラ、タイシタ事業デアリセマデスガ、兎ニ角二萬圓ノ場合デモ一萬一千圓シカ使フコトガ出來ナイ、後ハ殘リナイ、三十萬ト云ツテモ三萬一千四百二十一圓八十錢シカ使ヘナイノダ、手

許ニ殘ラナイノダ、一體三十萬圓ノ實收ヲ舉ゲルト云フノハ、是ノ十五倍二十倍、詰リ三百萬圓六百萬圓ノ商賣ヲシナケレバ、ソレデケノ收入ガ舉リマセス、ソレデケノ大ニ仕事ヲスレバ、或ハ社員ニモ色々面倒見テヤラナケレバナラナイ、其ノ人ガ此ノ物價高ニ三萬二千圓、詰リ月ニ割リマスト、二千五百圓バカリノ收入デ實際ツテ行ケルカドウカト云フコトヲ御批判ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、私ハ斯ウ云フ點カラ見マシテ、所得税ニ付キマシテハ若干數字ヲ動かシテ行カナケレバナラナイカト、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、マダ一逕條のニ申上ゲマスルトゴザイマスガ、時間モ大分過ウゴザイマスノデ、實ハ此ノ程度ニ御質問申上ゲテ置キタイと思フ譯デアリマスガ、之ニ付キマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、一ツ御回答ヲ得タイと思ツテ居リマス、種類ニ依リマシテハ、今日ノ御回答デナクテモ、次回デモ結構デゴザイマスガ、簡單ナモノデケハ一ツ御答ヘ願ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 私カラ大體ノ御答ヲ致シマシテ、尙財產稅或ハ所得稅トノ關係ニ付キマシテハ政府委員カラ御答ヘ申上ゲマス、今回ノ補償打切りト云ヒマスガ、打切りノ處置ニ付テ、戰災ニ罹ツタ人達、私モ其ノ一人デアリマスガ、其ノ人達ノ火災保險ガ大體五萬圓デ、ソレ以上ガ支拂ハレナイト云フコトニ付テハ問題デアリマ

ト存ジタ次第デアリマス、ガ其ノ結果ガ大シタコトモ出來ズニ、結局五萬圓程度、是ガマア實ハサウハツキリシナイノデアリマスガ、人數カラ申シマス

段サウ云フコトニ付テノ了解ヲ……軍人バカリデナク、引揚者ニ付テモ同様デ、屢々申上ダマスヤウニ、ナカク、軍人ト云ハ全部不都合ナ軍閥、引揚者ト云フモノモ軍閥ノ手先ダシタト云フ全體ノ考ヘ方デアリマス、此ノ考ヘ方ヲ改メテ實ハナケレバ何トモナラナイ、其ノ考ヘ方ヲ改メルヤウニ總理トモ常ニ話ガ出マシテ、左様ナ方向ニ導イテ何トカ救済策ヲ建テタイト考ヘテ居リマス、甚ダ簡單デアリマシタガ、其ノ他所得稅、財產稅ノ課ケ方等ニ付キマシテハ主稅局長カラ御答ヘサセマス

○政府委員(池田勇人君) 罹災者ニ對シマスル所得稅ノ輕減免除シテハドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、所得稅ノ前年ノ實績ニ課稅數スノデアリマス、新タナリ所得ニ對シマシテ、過去ノ事情ニ依リマシテ、輕減免除スルコトハ殆ドナイノデゴザイマス、唯先程申上ゲマシタ、前年度ノ實績ニ課稅スルコト云フ建前ヲ取ツテ居リマス稅ニ付キマシテハ、罹災者ニ對シテ納稅力ガナクナツタ、斯ウ云フ場合ハ相當アリマスノデ、此ノ罹災者ノ減免ハ事業所得等ハ昨年一年間歸メテ居リマシタ、唯ソレトノ權衡上矢張り新シイ動勞所得ニモ、此ノ際一年間ハ免稅ノ例外的ノ取扱いヲシヨウ、斯ウ云フノデアリマシタマシタガ、今回ハ矢張り原則ニ歸リマシテ、新シイ所得ニ對シテハ輕減免除ラシナイ、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、罹災者ニ對シマシテハ誠ニ御氣ノ毒ナ點ガアルノデアリマスガ、罹災者ト申シマシテモ、色々實際ノ被害ノ程度ガ變ツテ居リマス、又同ジ被害者デモ所得ノ狀況ニ依リマシテ相當考慮シナケレバナラヌト思ヒマシテ、輕減規

定ヲ置キマスコトガ却テ不適當ダト云フノデ、今度止メタ次第デゴザイマス、矢張り罹災者ト非罹災者トノ課稅ニ付キマシテ、殊ニ財產稅ヲドウスルカト云フ御話ガゴザイマシタガ、昨年發表致シマシタ政府ノ原案デハ、罹災者ニ付キマシテハ一萬圓程度ヲ控除スル、斯ウ云フコトヲ暫イテ居リマシタガ、其ノ後ノ物價事情ガ餘程變ツテ參リマシテ、又免稅點等ニ相當變ルコトナツテ居リト思ツテ居リマス、從ツテ罹災者ニ對シマスル財產稅ノ控除ニ付キマシテハ、昨年度ハ餘程考ヘ方ヲ變ヘマシテ、最近ノ物價事情等ヲ考ヘ、又免稅點トモ適合セマシテ、出來ルデケ罹災者ノ負擔ヲ少クスルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、併シ御話ノ通りニ、燒ケタ人ト燒ケナイ人ハ稅デ如何ニ補正シヨウトモ出來ルモノデハゴザイマス、大臣モ御話ニナリマシタヤウニ、燒ケタ人ニサウ無茶苦茶ニ課稅スルコト云フ譯ニハ行キマス、ドウシテモ我々ノ稅デケデハ拭ヒ切れナイモノダラウ、併シ出來マスストダケハ出來ルデケヤリタイト思ヒマス、所得稅第十一條ノ第一號、是ハ軍人、軍屬ノ從軍時ノ俸給、賞與デゴザイマス、今後ハ日本デハ、軍人、軍屬ノ規定ハ削除シタノデアリマス、ソレカラ稅引所得ノ問題デ、二十萬圓ノ方ハ二萬九千圓シカ殘ラナイ、或ハ三十萬圓ノ方ハ三萬一千圓シカ稅引所得ガナイト云フ御話デゴザイマスルガ、事業所得ニ付キマシテモ我々ノ計算デハサウハナツテ居ナイノデアリマス、三十萬圓デ五萬五千圓、二十萬圓デ四萬四千圓デアリマス、若シ御話ノヤウニナリマス、營業稅ヲ負擔ノ中ニ入

レラレタカト思ヒマスガ、營業稅ハ損金ニ計算スルノデゴザイマシテ、若シ斯カル場合ニ於キマシテハ、二十萬圓ノ所得ハ二十三萬ノ所得トシテ計算シナケレバナリマス、三十萬圓ノ所得ハ三十四萬五千圓トシテ計算ニ相成ルト思フノデアリマス、所得稅デケデ申シマス、稅引所得ハ、三十萬圓ノ場合ハ五萬五千圓、二十萬圓ノ場合ハ四萬四千圓、斯ウ云フ風ナコトニナツテ居リマス、二十萬、三十萬ノ所得ノ方ガ此ノ程度ノ負擔ヲサナルコト云フコトハ、收税ノ只今ト致シマシテハ仕方ナイノデアリナイカト考ヘテ居リマス、又增稅前ニ致シマシテモ、斯ウ云フ事業所得者ハ臨時利得稅ヲ負擔サレテ居ツタノデアリマスルカラ、今則其ノ臨時利得稅ガナクナリマシタノデ、増稅ノ歩合ハサウ大シタモノデハナイト考ヘテ居リマス

○長島鐵藏君 只今稅率ノ數字ニ違ヒガゴザイマスヤウナ御説明デアリマスルガ、私ハ税金ガ事業所得三十萬圓ノ場合ハ二十四萬四千六百二十二圓、ソレニ持ツテ行キマシテ都民稅約十「パーセント」「プラス」致シマス、サウスルト差引イテ殘ルノハ三萬一千四百二十一圓八十錢、是ハ十「パーセント」入ツテ居ルカラサウ云フコトニナツタノデアリマス、アナタノハ入ツテ居ラスノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 私ノ計算デハ市町村民稅、府縣民稅ハ入レテ居リマセス、府縣民稅、市町村民稅ノ負擔ハ稅引所得ノ最高點ヲ目標トシテ行キタイ、斯ウ内務大臣ハ言ツテ居ラレマシタ、最高限一割迄ハ府縣民稅、市町村民稅ヲ負擔サスカドウカト云フコトモ是亦研究ノ餘地ガアルヤウ

ニ思ヒマス、如何ニ負擔シテモソレ以上ニ負擔サセナイ、斯ウ云フ御話ダツタト記憶シテ居リマス、國稅ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、二十萬圓ノ事業所得ニ對シマシテハ四萬四千八百圓ノ稅引所得ガアリマス、ソレカラ三十萬圓ノ場合ハ五萬五千八百圓ノ稅引所得ニ相成ルノデアリマス

○黑田英雄君 大分時間ヲ取ツテ居リマスガ、簡單ナ質問デアリマス、カマシテ……、相續稅ノ場合ニ於キマシテ、相續財產ノ中、在外資產ガアツタヤウナ場合ニ、是ハ終戰後非常ニ價值ガ問題デアラウト思ヒマスガ、今日以後ニ相續ヲ開始シタ者ハ、今日デハナイ、終戰後相續ヲ開始シタ者ハソレニ依ツテ、評價サレルノダラウト思ヒマスガ、終戰前ニ相續ヲ開始シテ居ツタ場合ニ於テハ、在外資產ノ評價ト云フモノハドウ云フ風ニナル譯デスカ、稅法ニ依レバ、相續開始ノ時ノ價格ニ依リテ云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ價格ト云フモノハ今日ハ殆ド無價值ニナツテ居ルヤウナモノモ隨分アル、サウ云フモノハドウ云フヤウニ御取扱ニナルノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ點ハ今回ノ第二封鎖預金制度ノ問題ニ付キマシテ其ノ點ガ起リマスノデ、十分研究ヲ致シテ居リマス、在外資產ニ付キマシテモ、將來其ノ價值ガ如何ニナルカ豫想ガ付キマセヌノデ、第二封鎖預金ト同様ナ氣持デ考ヘテ行キタイと思ヒマス、大體ノ方針ト致シマシテハ、相續稅ヲ決定シテ居リマシテモ、又未決定ノ分ニ付キマシテモ、相續稅ノ未納額アル場合ニ於テハ、其ノ未納額ニ付キマシテ非常ニ價值ノ減少シタ預金或ハ在外資產ヲ減少割合ニ依ツテ減シ

テ行キタイ、斯ウ云フ考ノ下ニ研究致シテ居リマス

○黑田英雄君 ソレハ何カ特別ノ立法ヲサナルノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 立法ヲ致シマス

○黑田英雄君 モウ一ツ簡單デスカ……、此ノ臨時租稅措置法ノ改正ニ依ツテ、長期預金及分類所得稅ノ輕減ヲ今度廢メラレテ居ル、預金ヲ吸收シテ退藏其ノ他浮動シテ居ル資金ヲ銀行ニ集メルト云フ上ニ於テハ長期ニ之ヲ預金サシテ置クト云フコトヲ獎勵スルコトハ、サウ大シタ效果ハナイカモ知レマセスガ、吸收スルト云フコトノ方策トシテハ、一ツノ政府ノ方針ガ現レルモノダラウト思フノデスカ、之ヲ廢メラレタ理由ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(池田勇人君) 長期預金ニ對シマスル百分ノ六乃至七ノ輕減ハ戰時中設ケマシタノデアリマスガ、徵收ノ手數カラ申シマシテ、非常ナ煩瑣デゴザイマス、サウシテ又大シテ效果ハ認メラレマセス、我々ト致シマシタハ所謂徵稅ノ簡素化、斯ウ云フ意味カラ行キマシテ消除致シタヤウナ次第デゴザイマス、唯長期ニ限ラズ貯蓄金ル増強政策ニ付キマシテハ、又別途ニ大藏省トシテハ考ヘナケレバナラナイ重大ナ問題ダト思ツテ居リマス

○委員(男爵周布達道君) 如何デゴザイマス、御質問ガ續キマシタガ、尙大臣ニ對スル御質問ガゴザイマセウカ、ゴザイマセウカ、今日ハ是ニテ散會ヲ致シタイト思ヒマス、如何デゴザイマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員(男爵周布達道君) ソレデハ今日ハ是ニテ止マシテ、次會ハ來

ル月曜日午前十時カラ開會致シタイト
思ヒマス

午後三時五十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵周布 兼道君
副委員長 子爵綾小路 護君
委員

侯爵池田 宜政君

侯爵西郷吉之助君

侯爵鍋島 直泰君

伯爵奥平 昌恭君

子爵富小路隆直君

子爵梅溪 通虎君

中田 薫君

男爵松平外與磨君

男爵阿 俊二君

男爵水谷川忠磨君

男爵長 基通君

黒田 英雄君

松尾 國松君

小山 完吾君

塩田 國平君

長島 銀藏君

子爵七條 光明君

國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

商工大臣 星島 二郎君

大藏大臣 石橋 湛山君

政府委員

内務事務官 郡 祐一君

同 荻田 保君

大藏事務官 池田 勇人君

同 前尾繁三郎君

昭和二十一年九月十九日印刷

昭和二十一年九月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局